

びわ湖かがやき カンパニー

びわ湖のほとりで「キラ」っと輝く滋賀県
中小企業家同友会メンバーの事業所、
商品、サービスをご紹介します。

<インタビュー>

取材まとめ：八木真紀（有限会社ウエスト）

vol. **68**
2017年2月発行

株式会社 柿木花火工業

競技大会で入賞した花火や環境に配慮したエコ花火など、
花火店として新たな風を吹かせる長浜の株式会社 柿木花火
工業。三代目代表取締役社長の柿木博幸さんにお話を伺い
ました。（取材／11月30日）



日本人の感性を映し出す花火

御社の花火と特徴とは。

柿木 一昨年に私が開発した濃い青色
発光の花火は、諏訪湖の全国競技大会
で3等長野県知事賞に入賞した作品
です。青色の発色自体が難しいばかり
でなく、光る時間も長めを実現し、各
地の花火大会で好評を得ています。

日本の花火は、能楽の「序破急」に
通じていることがわかります。序は導
入の静かな部分、破は中心となり展開
される部分、急は終わりすっきりいう
演出理論です。打ち上げから終わりま
での数十秒の間にさまざまなドラマが
描かれていることは、外国の花火には
見られない日本の花火の奥深いところ
です。花火の種類は、菊、ダリア、牡
丹などの花の名前や枝垂れのように光



写真 上：諏訪湖の全国競技大会で3等に入賞した青色
発光の花火。「日本の花火は、打ち上げから消えるまで
の一瞬の間にドラマがある」と柿木さん。

の線が垂れる金冠、銀冠など、花火用
語が統一されています。

昔、戦が盛んだったこの地域では、
合戦の際の合図である「狼煙」や鉄砲
の火薬技術が変化して花火が町の風習
となり、姉川や高時川の沿川では陣屋
と呼ばれる花火打上げの司令塔が置か
れていました。町ごとに花火を作って
競技大会を開いていたほど盛んでした
が、昭和25年の火薬類取締法の施行か
ら急速になくなっていったそうです。

人生のターニングポイント 自らの存在意義を見出す チャレンジ精神の原動力に

花火の製造業者は滋賀で1社のみで
すが、事業を継承されたいきさつとは。
柿木 初代の祖父と二代目の父は花火
を仕入れて商売をしており、自社で本



玉皮がクラフト紙のものは従来型の花火、白い方は
オリジナルで開発した燃えカスがほとんど残らない
琵琶湖のヨシ紙を利用したエコ花火。

格的な花火製造に乗り出したのは三代
目の私からになります。スポーツマン
だった私は、ボートでの大学推薦があ
りましたが、それを取り止め大手企業
へ入社しました。その会社自体に何の
不満もなかったのですが、25歳のとき、
自分の人生を改めて見つめなおす出来
事に出会いました。自分が今生きてい
ること、花火屋に生まれたことは意味
があるのではないかと考えるようにな
り、自分の進むべき道を確認し、家業
を継ぐことに決めました。花火とは、
人が笑顔になり、拍手をして喜ぶ仕事
であること、父がたった一度も仕事の
愚痴を言わなかったことも後押ししま
した。20代のうちに技術を習得したい
と考え、静岡県の大手花火会社に修業
に出ました。師匠は本来なら弟子をと
らない方だったのですが、祖父との縁
のお蔭で実現しました。修業時代では
技術はもとより、本当に多くのことを



色剤の配合



玉込め



星掛け

花火製造工場の様子。花火の色剤の配合、玉込め、星かけと呼ばれる工程風景。工場内には乾燥用の設備を新設し、一層の量産体制を整えました。

学ばせていただきました。懸命にスポーツに励み苦楽を積んだ経験、最初に入社した大企業での知識、厳しい修業時代に会得したこと。帰郷したときは、すべての経験が自分を支え、「波に乗る」という感覚でスタートを切ることができました。設備を整え、花火製造を始めましたが、本業以外の仕事も積極的にお手伝いしています。例えば甲賀忍者に伝わる火薬の調合を頼まれたり、コーヒーの出がらしを微粉末にして火薬に利用

する研究をしたり、身近な材料で花火が作れることを小学生に教えるなど、他の花火屋がやらないようなことも、「今の私があるのは、意味がある」という考えのもと、前向きにトライさせてもらっています。

「エコ花火」の自社開発 企業独力を重ね、業界に旋風を

今後の課題や展望とは。

柿木 中国など外国産の安価な商品との価格競争は、花火業界でも例外ではありません。当社もかなり苦しんだ時期がありました。打開するには、何か特徴を出さなくてはなりません。花火の玉皮は紙で作られ、花火大会終了後には大量の燃えカスが地上に降っています。「ゴミを極力出さない花火を作れないか、それを琵琶湖を有する滋賀から発信できないか」と考え、4年の歳月をかけゴミの排出量を15分の1程に抑える画期的なエコ花火の開発に成功しました。玉皮は魚や鳥が食べても影響がない生分解性のプラスチックに、割火薬は独自の研究から植物の種を使用し、打ち上げと同時に燃え切ってしまうものに。何とか、このエコ花火を広げていけたらと思っています。全国各地の花火大会では、参入できる業者がほとんど固定されています。当社は県内唯一の花火製造業者ですが、



花火工場

株式会社 柿木花火工業

長浜市本庄町388
TEL / 0749-62-3503
<http://eco-hanabi.com/>

県内の主要な花火大会でさえ県外の業者が独占し、門戸が閉ざされているのが現状です。青色花火のように特徴のある商品、滋賀県産のエコ花火、そして皆さまに感動していただけるような魅力ある花火をつくり、多くの花火大会へ参入していけたら。そして、さらなる雇用も創出し、地元にも貢献できるような企業として残り続けていけたらと思います。



地元の小学生の体験学習にて。「地域に役立つために」と本業以外にも積極的に取り組んでいます。

「びわ湖かがやきカンパニー」に掲載希望の会員様は、同友会事務局までご連絡ください。お申し込み多数の場合は、理事会等で掲載順を決めさせていただきますのでご了承ください。

滋賀県中小企業家同友会事務局
TEL 077-561-5333

周年事業はチャンスなのです。

「10周年」を迎えられる企業は100社に5社。
「30周年」は10,000社に2.5社しか残らないと言われています。
有限会社ウエストは、周年事業をステークホルダーへの感謝と共に未来への意思表示の機会と考えています。弊社は、感謝を表現する式典の運用や記念誌製作から、ストラテジー決定のお手伝い及びその広報活動など、周年に関するワンストップサービスをご提供いたします。



滋賀県中小企業家同友会会員企業 **有限会社ウエスト**
〒523-0898 滋賀県近江八幡市たかかい町南一丁目3-11 <http://www.west-design.com>

0748-43-0155

担当：畑・成子・本田・片山まで